

## 「自分を守る」 ～もしもを考えて～

1. 学年・組 1年西組 33名

### 2. 目指す子供の姿

課題に対して自分の考えを持ち、友達と関わり合う活動を通して、自分の考えをより広げ深め、友達にわかりやすく伝えることができる子供

3. 本時における「子供とつくる学び」 4. 「子供とつくる学び」を実現するための手立て

子供たちはこれまでの安全科の学習に意欲的に取り組み、学習したことを日々の生活の中に活かしている。

本単元における「子供とつくる学び」の課題は、「自分は不審者に出会わない。」「出会ってもついて行ったりしない。」と不審者に対する危機感がない子供たちにどのようにして自分事として考えさせるかである。資料をもとに低学年が下校時間帯に犯罪被害に巻き込まれることが多いことを確認し、自分たちのどのような行動が不審者に狙われやすいのか、また不審者に出会わないための行動を考えていきたい。

もう一つ課題として、子供たちの中にある今までに教えてもらった約束事・ルールが知識としてのものだけになっていることである。たとえば、防犯標語「いかのおすし」は子供たちと一緒に安全について考えるためのよいきっかけとなっているものの、いざという場面で子供たちが頭で理解しているこのことを行動に置き換えることができるかという非常に難しいことである。「自分は不審者に出会わない。」という今までの考えを見直し、友達と共に「不審者に出会うかもしれない。だったらどうしたらいいのか。」「不審者に出会わないために自分たちができる行動はなにか。」を考え、子供たちがこれまでに教えてもらった知識と本時の学習をより結び付け、防犯への意識、いざという時の危険回避能力（思考力、行動力）を高めていきたい。

本時で「子供とつくる学び」を実現するための手立ては、以下の通りである。

①資料をもとに子供が被害者となった不審行為を確認し、「自分は、不審者には会わない」「不審者に出会ってもついて行ったりしない。」と思っている子供たちに揺さぶりをかけ、自分たちの身近な問題、危険であることを認識できるようにする。

②見た目では不審者と判断しにくいという気付きを大切にし、いくつかの例示から不審者に出会わないようにするための行動を自分で選択していく。選択していく過程の中で、何が危険なのか、どうして危険なのか、どう行動すべきなのかを考えさせていく。

これらの手立てによって、不審者に関する危機感をもち、犯罪に巻き込まれないための危険回避能力（思考力、行動力）を高めることにつなげていく。

## 5. 教材について

本単元では、子供たちが不審者によって危険な目に合わないようするために、防犯の一つとして学習を行う。本学級の児童の多くは、入学時より家庭で「知らない人にはついていかない。」というような話や約束をしっかりと交わしており、「自分は不審者には会わない。」「たとえ不審者に会ってもついていかないから大丈夫。」と思っており、不審者に関する危機感はほとんど持っていない。しかし、近年不審者の子供への声掛けや手口は年々巧妙で、特に低学年で被害に遭う場所で最も多いのが路上であり、狙われる曜日は月曜日から金曜日の平日であり、下校時間帯である14時から17時に狙われることが多いことがわかっている。そこで不審者に狙われやすいこの時期の児童に不審者によって危険な目にあわないようにするためにどのような行動が必要かを考える機会を設定した。

本時では、不審者に出会ってしまうかもしれないという自分事として考え、不審者に出会わないためにはどのような行動が必要かを考えさせ防犯への意識を高めていく。また、不審者に出会ってしまったときの危険回避方法も自分のこれまでの知識と結び付けながら考えさせ、いざという時の危険回避能力（思考力、行動力）を高めていくことができるようにしていきたい。

## 6. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
資料をもとに子供が被害者となった不審行為を知り、自分たちの身近な問題、危険であることを理解している。	不審者に出会わないために自分たちができること、また出会ってしまった時の危険回避方法を考える。	これまでの防犯の知識と結び付けながら、自らが危険を回避するための課題解決に取り組もうとしている。

## 7. 単元計画

次	時	内容
1	1	不審者に狙われないための対策を考える。★本時
	2	不審者からの逃げ方について考える。

## 8. 本時の目標

誰もが不審者に出会う可能性があることを知り、不審者に出会う可能性を低くするために自分ができる行動を考えることができる。【思考・判断・表現】

## 9. 本時の展開

